

博物館

1 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2 施設の概要

・名称	四日市市立博物館	
・所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
・開館年月日	平成5年11月1日	
・敷地面積	1,845.840 m ²	
・建設面積	1,590.397 m ²	
・延床面積	10,147.108 m ²	
・建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2F、地上6F	
・主な室名と面積		
展示・教育部門	2,156.155 m ²	
常設展示室	2 F	564.691 m ²
常設展示室	3 F	454.618 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	2～4 F	281.020 m ²
情報コーナー	1 F	118.810 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
収蔵部門	1,256.230 m ²	
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門	430.207 m ²	
作業室	2 F	60.464 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
会議室②	4 F	37.952 m ²
会議室③	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門	1,714.282 m ²	
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m ²
天文学習室	5 F	59.081 m ²
天文展示コーナー	5 F	194.763 m ²
天文係事務室	5 F	59.326 m ²
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門	4,590.234 m ²	
事務室	3 F	105.059 m ²
応接室	2 F	37.001 m ²



会議室①	2 F	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品室など		3,577.811 m ²
プラネタリウム		1,714.000 m ²
ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）		
座席 155 席		
ヘリオス		
全天周映画 可能		

3 展示等事業

(1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を常設する。

・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示してい

る。

・テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。

詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。

詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・テーマ5 四日市港と近代産業の発展

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。

詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製網、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・テーマ6 戦災からの復興と都市の創造

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。

詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2) 特別展・企画展(開館20周年記念特別展・企画展)

①「四日市鳥瞰図 しんきろう 本城直季写真展」		
会 期	平成25年4月20日(土)から 6月9日(日)までの44日間	
観 覧 料	一般 600円 高・大生 400円	
入館者数	3,810人	
関連行事	4月20日(土)	「ギャラリートーク」 本城 直季(写真家)
	5月19日(日)	
	5月19日(日)	本城さんの写真に写ろう! 本城 直季(写真家)

②「本池秀夫 革の世界展 ～人形・動物・現代アート～」		
会 期	平成25年7月20日(土)から 9月1日(日)までの38日間	
観 覧 料	一般 700円 高・大生 500円	
入館者数	5,774人	
関連行事	7月20日(土)・21日(日)、 8月3日(土)・4日(日)・ 17日(土)・18日(日)・ 31日(土)、9月1日(日)	「ギャラリートーク」 本池 秀夫 (レザーアーティスト)
	8月11日(日)	「動くおもちゃをつくろう」 川本一也(当館指導主事) 学習支援ボランティア

③「日本近代洋画への道～山岡コレクションを中心に～」		
会 期	平成25年9月21日(土)から 11月17日(日)までの50日間	
観 覧 料	一般 800円 高・大生 500円	
入館者数	2,804人	
関連行事	10月13日(日)	「高橋由一とワーグマン」 田中善明 (三重県立美術館学芸課長)
	11月4日 (月・振)	「日本近代洋画の黎明」 金原宏行 (豊橋市美術博物館長)
	9月23日(月・祝)、10 月11日(金)・14日 (月・祝)・25日(金)、 11月3日(日)・15日 (金)	「ギャラリートーク」 田中伸一 (当館学芸員)

④「昭和の暮らし展」	
会 期	平成26年1月18日(土)から 3月2日(日)までの38日間

観覧料	一般 300円 高・大生 200円
入館者数	8,253人
関連行事	1月19日(日)、2月2日(日)・16日(日)、3月2日(日) 「昭和の名人に学ぼう」学習支援ボランティア

⑤「第55回北勢地区高等学校美術展」	
会期	平成26年3月11日(火)から16日(日)までの6日間
入館者数	566人

(3) 学習支援展示・特別陳列

学習支援展示

①大昔の四日市 弥生時代と古墳時代	4月20日(土)～6月2日(日)	サルビアギャラ リー、3Fロビー
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月15日(土)～9月1日(日)	サルビアギャラ リー、3Fロビー
③昭和の暮らし展	1月18日(土)～3月2日(日)	4F特別展示室

特別陳列（開館20周年記念館蔵品展）

①館蔵品展Ⅰ （洋画）	9月28日(土)～11月4日(月・振)	サルビア ギャラ リー
②館蔵品展Ⅱ （萬古焼）	11月16日(土)～12月23日(月・祝)	
③館蔵品展Ⅲ （日本のミニマルデザイン）	1月4日(土)～2月9日(日)	
④館蔵品展Ⅳ （歴史）	2月22日(土)～4月6日(日)	

4 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室 [場所：講座室及び館内]

①ワークショップ

月日	内容	講師等
6月16日(日)	四日市空襲のお話を聞こう	当館指導主事 川本 一也 (※印 学習支援 ボランティア)
8月11日(日)	動くおもちゃをつくろう(※)	
11月17日(日)	親子で博物館探検	

②むかし体験

月日	内容	講師等
1月26日(日)	昭和の道具を使ってみよう	当館指導主事 川本 一也

2月9日(日)	昭和のおやつをつくろう	学習支援 ボランティア
2月23日(日)	昭和っ子のあそびをしよう	

(2) 一般向け講座 [場所：講座室及び館内]

①古典で読み解く江戸時代（全6回）

月日	内容	講師
6月9日(日)	東海道中膝栗毛①	当館学芸員 廣瀬 毅
6月23日(日)	東海道中膝栗毛②	
7月7日(日)	東海道中膝栗毛③	
11月24日(日)	東海道中膝栗毛④	
12月8日(日)	東海道中膝栗毛⑤	
12月22日(日)	東海道中膝栗毛⑥	

②ミュージアムセミナー

月日	内容	講師
9月1日(日)	フェルメール	江本 菜穂子(名古屋造形大学教授)
10月13日(日)	高橋由一とワグマン	田中 善明(三重県立美術館学芸課長)
11月4日(月・振)	日本近代洋画の黎明	金原 宏行(豊橋市美術博物館長)
12月1日(日)	レンブラント	保崎 裕徳(名古屋市美術館学芸員)

(3) 教員のための研修

月日	内容	講師
7月30日(火)	教員のための体験的博物館研修	当館企画普及係 職員
7月30日(火) 31日(水)	初任者研修(小学校)	当館企画普及係 職員
8月11日(日)	初任者研修(中学校)	当館企画普及係 職員

(4) 博物館実習（大学生・大学院生対象）

8月29日(木)～9月4日(水) 共通実習
9月6日(金)・11日(水)・12日(木)・15日(日)・16日(月)・17日(火) 個別実習
受講生9人(7大学)

(5) 職場体験(中学生対象)

体験学校数 8校
体験者数 21人

(6) 学習支援展示「昭和の暮らし展」学校見学の対応
(小学校3年生対象)

見学学校数 45校
見学者数 市内2,555人・三重郡300人
・その他409人 計3,264人

(7) ボランティアの養成と協働

登録者数 96人 延べ活動者数 1,363人

5 資料収集保存事業

(単位：件) (平成26年3月末現在)

1	区分	実物・標本	模型 複写
人 文 学 資 料	(1) 考古	1,361	26
	(2) 美術工芸	2,623	10
	(3) 民俗	4,663	10
	(4) 歴史	9,823	58
	(5) 文学	4,866	0
	計	23,336	104
2	区分	実物・標本	模型 複写
自 然 科 学 資 料	(1) 動物資料	0	0
	(2) 植物資料	3,272	0
	(3) 地学資料	90	2
	(4) 理工学資料	0	0
	(5) 天文資料	7	0
	(6) その他の資料	0	0
	計	3,369	2

6 プラネタリウム投映事業

季節ごとに3種類(テーマ番組、キャラクター番組、星空番組)の番組を投映した。特に、季節に合わせた話題を特集する星空番組「星空キャスターにおまかせ」は、50分間のフルライブで解説する自主制作番組とした。さらに、夏休み期間には、学習番組として「はじめての天文学」を投映し、土曜日と日曜日は11時40分の回を増設し、5回投映とした。

また、市民が宇宙について詳しく学習する機会として、JAXAの講師による「宇宙塾」を年4回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き投映、園児や児童を対象とした学習投映、各種コンサートなどを実施した。

天文教育普及活動では、子ども科学教室や小・中学校との連携による授業、プラネタリウム指導者研修会など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

(1) 季節番組

冬春番組

① 平成25年2月2日(土)～5月26日(日)
(テーマ)「南十字星をたずねて」
(キャラクター)「クレヨンしんちゃん
かすかべ防衛隊 宇宙クイズで勝負だゾ！」

夏番組

② 平成25年6月1日(土)～9月29日(日)
(テーマ)「プラネタリウム 宇宙兄弟 一点のひかり」
(キャラクター)「ワンピース プラネタリウム」
平成25年7月20日(土)～9月1日(日)
(学習番組)「はじめての天文学
教えて!アインシュタイン先生」

秋冬番組

③ 平成25年10月5日(土)～12月1日(日)
(テーマ)「星うさぎと月のふね」
平成25年12月3日(火)～平成26年2月2日(日)
(テーマ)「はじめての天文学
教えて!アインシュタイン先生」
平成25年10月5日(土)～平成26年2月2日(日)
(キャラクター)開館20周年記念番組
「光が彩るよっかいち こにゅうどうくんと行くナイトツアー！」

冬春番組

④ 平成26年2月8日(土)～5月11日(日)
(テーマ)「ワイルド・ウェザー ～太陽系 驚異の気象～」
(キャラクター)「名探偵コナン 星影の魔術師」

星空番組 星空キャスターにおまかせ

⑤ 平成25年4月2日(火)～平成26年3月28日(金)

4月 木星・土星特集	10月 名月特集
5月 木星・土星特集	11月 彗星特集
6月 七夕特集	12月 彗星特集
7月 七夕特集	1月 オリオン座特集
8月 (番組変更のため中止)	2月 オリオン座特集
9月 名月特集	3月 オリオン座特集

※ ①～③の番組については、各1回字幕付き投映を実施(ただし、「はじめての天文学」は除く。④は平成26年度に実施)

(2) 学習番組(団体利用投映)

・ 平日の午前 ① 10:00～10:45 ② 11:00～11:45
・ 保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象
(事前申込みが必要)
・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による双方向型の学習用プラネタリウム

<季節番組・学習番組の放映時刻>

平日	学習 10:00 11:00	テーマ 番組 13:20	星 空 番組 14:40	
土曜日 春冬休みの 平日	キャラクター 番組 10:30	キャラクター 番組 13:20	テーマ 番組 14:40	星 空 番組 16:00
日曜日・祝日 春冬休みの 土・日・祝日	キャラクター 番組 10:30	キャラクター 番組 13:20	テーマ 番組 14:40	キャラクター 番組 16:00

夏休み 火～金	キャラクター 番組 10:20		キャラクター 番組 13:20	テーマ 番組 14:40	学 習 番組 16:00
夏休み 土・日	キャラクター 番組 10:20	テーマ 番組 11:40	キャラクター 番組 13:20	テーマ 番組 14:40	学 習 番組 16:00

(3) 特別番組

<p>「宇宙塾」～天文楽しませんか?～ (全4回)</p> <p>・宇宙の最前線で活躍中の JAXA 研究者を講師として迎えて、最新の話題や実験・質問を織り交ぜた、プラネタリウム特別版 16:30～18:00</p> <p>① 平成25年8月7日(水)「はじめての天文学」 講師:JAXA 宇宙科学研究所 教授 阪本 成一</p> <p>② 平成25年12月21日(土) 「宇宙飛行士の健康管理から見た宇宙医学」 講師:JAXA 有人宇宙ミッション本部宇宙飛行士健康管理グループ 医長 三木 猛生</p> <p>③ 平成26年2月15日(土)「太陽系探査の未来設計図 ～アストロバイオロジーの視点から～」 講師:JAXA 宇宙科学研究所 助教 矢野 創</p> <p>④ 平成26年3月29日(土)「太陽系を駆けめぐる 宇宙探査機のしくみ」 講師:JAXA 宇宙科学研究所 主任開発員 山本 高行</p>
--

※ 指導者研修会と兼ねて実施

<p>生演奏コンサート</p> <p>平成25年11月2日(土) 19:00～20:30 「開館20周年記念コンサート マリンバ アンサンブル」 演奏者:大関 みき 他</p>
--

<p>星空CDコンサート</p> <p>平成25年12月20日(金) 19:00～20:00 「クリスマスの星空と『ユーミン』特集」</p>
--

7 天文教育普及事業

(1) 子ども科学教室 (全2回)

<p>平成25年12月21日(土) 9:45～12:00、13:15～15:30 「立体凧を作ろう!」</p>

(2) 公開観望会 (きらら号出勤なし)

<p>ペルセウス座流星群観望会</p> <p>平成25年8月13日(火) 19:00～21:00 場所:星の広場(水沢町)</p>

(3) プラネタリウム指導者研修

<p>① 宇宙塾 (4回)</p> <p>② 天文教育研修会 平成25年7月29日(月) 小学校対象 9:30～12:00 中学校対象 13:30～16:30 ・教育支援課と共催で実施</p>
--

(4) 学校との連携授業

<p>・市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施</p> <p>① バーチャル星空探検 平成25年9月～11月の火～金曜日 対象:小学校4年生と6年生 内容:スペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、 立体映像装置を用いて学習する。 実施校数:16校(市内14校、三重郡2校)</p> <p>② 移動式プラネタリウム 平成25年11月～平成26年1月の原則火～金曜日 対象:中学校3年生 内容:星の日周運動や年周運動、北極・赤道での太陽の 動き、金星の満ち欠けなどについて学習する。 実施校数:18校(市内17校、三重郡1校)</p>

(5) 四日市子ども科学セミナー

<p>Part1 JAXA コズミックカレッジ in 四日市 ～かさ袋ロケットをつくって宇宙へ行こう!～</p> <p>平成25年8月3日(土) 10:00～12:00(午前の部) 13:30～15:30(午後の部) 講師:JAXA 宇宙教育センター 馬淵 正展</p>

(6) 出前講座など

①	平成25年8月21日(水)「3Dで宇宙のお話」 場所:菰野町農村センター 主催者:学童クラブちくさ保護者会
②	平成25年8月29日(木)「手作りプラネタリウム」 場所:人権プラザ小牧 主催者:人権プラザ小牧
③	平成25年10月20日(日)「3Dで宇宙のお話」 場所:中部西小学校 主催者:共同地区

(7) JAXA 若田宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベント

平成 26 年 1 月 14 日(火) 18:20~21:05 代表質問者:羽津北小学校 2 年男子 1 人 常磐小学校 3 年女子 1 人
--

(8) 移動天文車「きらら号」事業

口径 20cm の天体望遠鏡を載せた移動天文車による星空観望会を実施した。天文ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

① 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。

「きらら号」稼働状況(派遣事業のみ)
稼働予定回数 33回 (うち派遣回数:23回、中止時の天文教室回数:5回 天候不順のため中止:5回)
参加者数 2,517人 (うち中止時の天文教室参加者数 168人)
ボランティア数 延べ83人

② 主催事業

「きらら号」稼働状況(主催事業のみ)
稼働予定回数 13回 (うち実施回数:10回、天候不順のため中止:2回、 観測不能のため中止:1回)
参加者数 789人 ボランティア数 延べ55人
① 木星を見よう 日時:平成 25 年 4 月 27 日(土) 18:30~20:00 場所:市民公園(博物館前)
② 太陽を見よう 日時:平成 25 年 5 月 25 日(土) 10:00~12:00 場所:市民公園(博物館前)

③ 土星を見よう 日時:平成 25 年 6 月 22 日(土) 19:00~20:30 場所:市民公園(博物館前)
④ 土星を見よう 日時:平成 25 年 7 月 27 日(土) 19:00~20:30 場所:市民公園(博物館前)
⑤ 太陽を見よう 日時:平成 25 年 8 月 24 日(土) 10:00~12:00 場所:市民公園(博物館前) 天候不順のため中止
⑥ お月見をしよう(中秋の名月) 日時:平成 25 年 9 月 19 日(木) 18:30~20:00 場所:市民公園(博物館前)
⑦ 見ごろの星と星座を見よう 日時:平成 25 年 10 月 26 日(土) 18:00~19:30 場所:市民公園(博物館前)
⑧ 見ごろの星と星座を見よう 日時:平成 25 年 11 月 23 日(土・祝) 17:30~19:00 場所:市民公園(博物館前)
⑨ アイソン彗星観望会 ※彗星の接近に合わせて観望会を開催予定であったが、彗星核崩壊による観測不能のため中止
⑩ 月を見よう 日時:平成 25 年 12 月 14 日(土) 17:30~19:00 場所:市民公園(博物館前)
⑪ 木星を見よう 日時:平成 26 年 1 月 25 日(土) 18:30~20:00 場所:市民公園(博物館前) 天候不順のため中止
⑫ 木星を見よう 日時:平成 26 年 2 月 22 日(土) 18:30~20:00 場所:市民公園(博物館前)
⑬ 木星を見よう 日時:平成 26 年 3 月 22 日(土) 18:30~20:00 場所:市民公園(博物館前)

8 開館時間等

開館時間

午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
(ただし展覧会への入場は午後 4 時 30 分まで)

休館日

月曜日(休日の場合は翌日)及び年末年始
館内整備期間(9 月上旬)

観覧料金

区分	博物館 特別展示	プラネタリウ ム	プラネタリウ ム特別番組
一般	その都度 定める額	540 円	その都度定 める額
高大生		380 円	
小中生	無料	210 円	

※20 名以上の団体は2割引 ※博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分 ～12時	13～17時	9時30分 ～17時
特別展示室 595㎡	—	—	32,400円
講座室 142㎡	8,640円	12,960円	21,600円
市民ギャラリー94㎡	—	—	2,160円

※観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

※博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

※商業宣伝、営業行為には使用できない。

9 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		月計	
4月	25日	1, 178	9日	591	23日	69回	1, 496	3, 265
5月	27日	1, 622	27日	2, 038	21日	64回	1, 459	5, 119
6月	26日	2, 546	8日	1, 181	26日	98回	4, 957	8, 684
7月	26日	2, 543	10日	1, 049	26日	100回	5, 746	9, 338
8月	27日	3, 769	27日	4, 424	27日	117回	10, 565	18, 758
9月	16日	953	9日	725	16日	55回	2, 409	4, 087
10月	27日	1, 137	27日	1, 077	23日	76回	2, 219	4, 433
11月	26日	2, 102	15日	1, 303	26日	84回	3, 021	6, 426
12月	24日	619	0日	0	21日	64回	1, 040	1, 659
26年1月	24日	2, 452	12日	2, 732	23日	65回	1, 387	6, 571
2月	24日	3, 832	24日	4, 979	20日	73回	3, 541	12, 352
3月	26日	1, 826	2日	542	23日	86回	3, 036	5, 404
合計	298日	24, 579	170日	20, 641	275日	951回	40, 876	86, 096

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
24	299日	24,522人	195日	32,723人	274日	45,293人	102,538人
23	300日	23,859人	187日	22,152人	276日	45,215人	91,226人
22	299日	24,479人	195日	27,903人	275日	45,406人	97,788人